

2009年7月吉日
株式会社 虎屋

変わらない心と、あたらしい心

とらや東京ミッドタウン店ギャラリー 第13回企画展

とらやのしるし展

開催のお知らせ

「とらや東京ミッドタウン店」は、和菓子のみならず、和の様々な魅力や価値を広くお伝えすることを目的とするギャラリーを併設した、とらや唯一の店舗です。

来たる2009年9月2日(水)～11月9日(月)、当ギャラリー内にて「とらやのしるし展」を開催します。この「とらやのしるし展」では、現存する器物やパッケージを通して、現在の「とらや」のロゴに至るしるしの変遷を紹介。会期を2つに分け、前半は、安永5年(1776)の雛井籠といった江戸期の器物などを、後半は、昭和初期以降の商品パッケージをご覧ください。

< 展示のご案内 >

場 所： とらや東京ミッドタウン店内 ギャラリー

(東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア地下1階)

会 期： 2009年9月2日(水)～2009年11月9日(月)

前半/9月2日(水)～10月13日(火) 後半/10月14日(水)～11月9日(月)

時 間： 11:00～21:00 (店舗営業時間と同じ) ※無休(東京ミッドタウン休業日に準じます)

■ とらやロゴデザインの原点、歴史をたどる ■

とらや東京ミッドタウン店の暖簾に大きく配された「鑲虎(かんとら)」という「とらや」のしるし。このしるしは、延宝2年(1674)の年紀がある、菓子を入れて運ぶ井籠(せいらう)の外箱にすでに見られます。また、おなじみの黒地に金の虎の手提げ袋は、安永5年(1776)につくられた雛菓子用の通い箱「雛井籠(ひなせいらう)」の虎をモチーフにしています。

このように、先人たちの使用していたとらやのしるしが現在のロゴマークやデザインに受け継がれ、C I (コーポレートアイデンティティ) をつくり上げています。



雛井籠 (安永5年 (1776))



東京ミッドタウン店の暖簾に配された「鑲虎」

*** 展示関連商品** 展示にちなんで以下の商品を販売いたします。

● 鑲虎干菓子 (税込み 1,155 円/1 箱)

「とらや」の古器物に描かれている「鑲虎」を干菓子にしました。

● オリジナルバッグ (価格未定)

「とらや」のクリエイティブ・ディレクターでもある葛西薫氏 (株式会社サン・アド) 監修による「鑲虎」をモチーフにしたバッグです。

● 懐紙 (価格未定)

手提げ袋や化粧箱に使っている「虎」の絵柄を配した懐紙です。



掲載用問合せ先：とらや東京ミッドタウン店
取材用問合せ先：株式会社 虎屋 社長室 広報課

電話：03-5413-3541
電話：03-3408-4128